

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢社会対応既存交通補完研究事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	中山 貢一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	既存の交通機関利用では十分な移動ができない地域の高齢者	意図	道路状況や地域性を考慮した移動手段が提供され、高齢者が外出しやすくなる。
事業内容	高齢化社会の進展に対応し、地域の公共交通（路線バス、ぐりーんバス）利用者と、福祉的移動サービス（福祉タクシー等）利用者との間に位置づけられる新たな移動策を研究する。			
事業開始から現在までの状況変化	既存の公共交通手段より、さらにきめ細かな移動支援策が望まれている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	研究成果の実用数	#VALUE!	#VALUE!	0	団体	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 地域移動支援の新たな方策について独自に研究した結果として、「定時定路線運行以外（道路運送法に基づかない）」形態による「地域運営型移動支援サービス（タクシーの活用）」が実現可能な選択肢として見出されたことから、地域での活用の意向を注視している。							
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				414,556				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)				414,556				
人役・職員(人)				0.06				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	研究の推進と、地域住民への提案。	③取り組みの課題	地域住民の主体的な姿勢が重要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	情報収集及び研究の推進。	④今後の改善計画	今後も、地域住民への情報提供と、研究を進める。